

世界史問題 (90分)

(この問題冊子は8ページ, 3問である。)

受験についての注意

1. 試験監督者の指示があるまで, 問題冊子を開いてはならない。
2. 試験開始前に, 試験監督者から指示があったら, 解答用紙1ページ目の左上に氏名と受験番号を記入し, 所定のマーク欄をぬりつぶすこと。
3. 試験監督者から試験開始の指示があったら, この問題冊子が, 上に記したページ数どおりそろっていることを確かめること。
4. 筆記具は, HかFかHBの黒鉛筆またはシャープペンシルに限る。万年筆・ボールペンなどを使用してはならない。時計に組み込まれたアラーム機能, 計算機能, 辞書機能を使用してはならない。また, スマートウォッチなどのウェアラブル端末を使用してはならない。
5. マーク式の解答は, 解答用紙の各問の選択肢の中から正解と思うものを選んで, そのマーク欄をぬりつぶすこと。
6. マークをするとき, マーク欄からはみ出したり, 白い部分を残したり, 文字や番号, ○や×をつけたりしてはならない。また, マーク箇所以外の部分には何も書いてはならない。
7. 記述式の解答は, 各解答欄にていねいに記入すること。数字, ローマ字については, 1マスに2字とする。
8. 訂正する場合は, 消しゴムでていねいに消したうえで, 消しきずはきれいに取り除くこと。
9. 解答用紙を折り曲げたり, 破ったりしてはならない。
10. 試験監督者の許可なく試験時間中に退場してはならない。
11. 解答用紙を持ち帰ってはならない。
12. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

問題 次の文章を読み、設問に答えなさい。

学生になる、学生である、ということは何を意味するのだろうか。試しに日本語の「学生」という単語を『日本国語大辞典』で引いてみると、「学問をしている人。現在は普通、高校生以上、特に大学に通って学ぶ者をいう。生徒。書生」とある。続いて「大学」を引くと、最初に、「中国の周代以降、王者のたてた最高学府。修身、治人の道を教えたもの。官吏の養成機関でもあった。太学」と出てくる。しかし、私たちの言う「大学」とは、同項目の続きにあるように、「高等教育の中核をなす学校で、学術の研究および教育の最高機関。〔…〕現代の大学制度は西洋中世に起源が求められ、近代国家の発達とともに19世紀以降今日のような形態となった。日本では欧米に範を求めて明治以降に設立された」組織であると理解されるのが普通だろう。文部科学省が公表している統計(中央教育審議会総会〔第137回〕会議資料1-3)によれば、今世紀にさしかかる頃、日本の大学進学率は50%を越え、2022年には60.4%に達した。中等教育を終えた若者が学生になるのは、もはやごく当たり前の進路になったと言えそうだ。しかし、1975年の日本の大学進学率は約38%で、とくに女子の進学率は12.7%(2022年は53.4%)と少なかった。こうした数字は、学生になることの目的や意味の変化、社会における学生の役割や学生に対する社会のまなざしの変容を示唆する。そこで、以下ではそれらの歴史の変遷をたどってみることにしたい。

西洋中世においては、商業が発展し、広域的な経済活動の拠点として都市が発達した。西ヨーロッパに誕生した諸都市には、商人や遍歴職人、托鉢修道士、旅人、さらには学者や朗読者および彼らに付き従って教を請う者なども行き来し、皆それぞれに共同体(組合)を作り、自らの立場を守るために助け合った。よく知られているのは商人の組合としてのギルドだが、学者や教師、学生たちも独自の組合を作り、これらが現代の大学の起源になったとされる。15世紀までには、ボローニャ大学、パリ大学をはじめヨーロッパ全土に70~80の大学が誕生した。注目すべきは、大学という施設が先にできて、学びたい人がそこにやって来て学生になったのではなく、学びたい人が集まって共同体を作り、それが結果として大学という組織の誕生につながった点だろう。大学施設がないからこそ、都市当局の対応に不満を抱いた学生や教師が集団で別の都市に移動し、そこで新た

に大学を作る事例も見られたのだ。当時の学生とはまさしく「学問をしている人」であり、彼らは一種の身分的団体を成していたとみなしうる。

こうした状況は、近世を通じて変化していった。分かりやすいのが神聖ローマ帝国における例である。もともと神聖ローマ帝国内の大学は、人の集まりとして誕生したというより、聖俗の君主が施設や教師を揃える形で設置した場合が多かったが、宗教改革と宗教戦争を経て領邦国家体制と領邦教会制度が確立すると、⁽³⁾それらを支えるために領邦君主が競うように自らの領内に大学を作った。領邦と大学の結びつきが強まり、学生や教師が集団で都市を移動したり、宗派の異なる大学で学び教えたりすることもなくなった。当時の大学には、最大でも神学部・法学部・医学部・哲学部の4学部しかなかった事実からも分かるように、学生になるということは聖職者・官吏・医者・教師になるのとほぼ同義で、とくに聖職者や官吏として領邦国家を支える人材になることが第一義であった。学生は、「学問をしている人」から「官公吏の予備軍」になったと言えるかもしれない。

前述のように、大学は「近代国家の発達とともに[...]今日のような形態となった」が、その典型例の一つが1810年に創設されたベルリン大学である。プロイセン王国は18世紀のあいだに軍事力を高めてヨーロッパの強国となるが、ナポレオン戦争でフランスに敗れて領土も失った。そうした危機的状況を背景に国家の近代化を目指す「プロイセン改革」がおこなわれ、その一環である教育改革の一つとして、ヴィルヘルム＝フォン＝フンボルトらを中心にベルリン大学が作られた。同大学をはじめドイツの大学は、19世紀を通じて哲学や歴史学などの人文学的な学問分野で優れた研究成果をあげただけでなく、心理学や細菌学などの新しい専門分野を確立することに寄与し、学術機関として大いに発展を遂げた。この頃に、アカデミックな施設である大学で専門化された学問を追究するために学生になるという経路ができあがったと言えるだろう。こうしたドイツの大学は、ヨーロッパ各地はもちろん、アメリカ合衆国などからも多くの学生を惹きつけたし、周知のように明治政府も少なからぬ数の留學生をドイツの大学に送り出した。

それと同時に、ドイツ近代は「資格社会」ともみなされるように、学生は大学での学びの締め括りに国家試験を受けて資格を取得し、行政や司法、あるいは医療や教育分野で指導的立場に立つことが約束されていた。つまり、学生はドイツの国家や社会の中樞を担うエリートの卵であり、そのことは当人たちにも自覚され

ていたのだ。彼らは、19世紀に盛り上がりを見せた各種の学生団体——現代日本の部活動に近いもの——において、仲間や先輩、各国を代表して来ている留学生と交流を深め、社会に出てからも機能する人脈作りに精を出した。一方、揃いの学生帽などで学生団体への所属をひけらかしたり、学生ではない人を「無教養の俗物」と呼んで見下したりもした。また、学業のみに専念する者を「ガリ勉」として蔑む一方、現代のフェンシング競技に似た剣術——「(学生)決闘」とも呼ばれた——やビールの飲み比べなどの遊興に力を入れる姿を「理想的なエリート像」とする傾向があった。勉学そっちのけで決闘と飲み会に明け暮れる学生のイメージは、風刺雑誌でも繰り返し揶揄されるなど、当時のドイツ社会では一定の広がりを持っていたようだ。ところで、19世紀末にいたるまで女性はドイツの大学で正規の学生にはなれなかった。教授はもちろんのこと、学生も全員男性で、大学は完全に「男の世界」だった。したがって、学生という存在はエリート男性意識と結びついていた点を見逃してはならない。

こうした状況は次第に変化していく。それを今度はアメリカ合衆国を例にみてみよう。合衆国でも当初は男性のみが学生になれたが、早くも19世紀前半に最初の女子大学が創設されただけでなく、19世紀半ばには共学の大学も登場し、女性にも学生になる道が拓かれた。そして一般に、第一次世界大戦を契機に社会が大衆化したと言われるように、合衆国の大学も20世紀前半には「エリート型」から「マス型」へと移行したとされる。すなわち、一部の選ばれた男性だけでなく、より多くの若者が学生になる選択肢を手にするようになったのだ。それと同時に、学生＝エリートの卵という等式は成り立ちにくくなったが、名門大学の学生になることは社会的上昇のための有力な手段や自己実現への近道とみなされ、若者には魅力的な選択肢であり続けた。だからこそ、入学選抜制度が特定の属性を備えた人だけに有利になっていないか、ジェンダーやエスニシティによる不公平が生じていないか、アファーマティブ・アクション(積極的差別是正措置)の導入は是か非かといった問題が、現在にいたるまで議論されているのだろう。

さらに、20世紀後半の大学は、自らの国家や社会のあり方を憂えて学生が意見を交わし、行動を起こすための公共圏としての側面を強めた。その好例が、合衆国のベトナム侵攻に対して1960年代半ばの大学キャンパスで大きく展開されるようになった反戦運動である。学生たちは戦争を批判する教員や知識人なども巻き

込んで反戦集会や反戦デモをおこなった。彼らの反戦運動は、徴兵カードを焼くなどの示威行動を伴った徴兵拒否、ベトナム戦争復員軍人の反戦運動、軍隊内の地下反戦運動や内部告発などを促し、公民権運動から続く黒人の解放闘争とも結びつくなど、合衆国内での影響はきわめて大きかった。さらに、この反戦運動には、1968年にパリ大学に端を発してフランス全土に広がった学生運動に代表される世界各地の学生による政治運動・社会運動と呼応するグローバルな性格もあった。⁽⁵⁾ 当時の学生は、既存の政治・経済体制、文化規範を批判する精神と行動力を持つ社会集団として機能したとみなしうる。

日本の話に戻ろう。1968年の学生運動は日本でも大きな盛り上がりを見せたが、その頃の大学進学率は20%に満たなかった。冒頭で見たとおり、その後50年間で日本の大学進学率は3倍近くなり、学生を取り巻く環境も様変わりした。20世紀末には大学が「レジャーランド化」したと嘆息されたように、社会的上昇や自己実現のために学業に励む学生よりも、サークル活動などに精を出して青春を謳歌する学生の姿が目立つようになったとされる。だが、最近ではむしろ、学生が「カスタマー化」した、つまり、学生として主体的に活動するのではなく、大学が提供するサービスをただ受け取るだけだという批判や、学生(大学生)としての自覚がなく自らを「生徒」と呼ぶ学生が多いといった懸念の声が聞かれる。これは、進学率が高まった、つまり、学生になりやすくなったため、さまざまな目的を持って学生になる者が増え、学生であることの意味が当事者にとって多様化した結果とも言えるだろう。これまで見てきたように、学生になる目的や学生であることの意味は時代や地域によって異なり、それに応じて社会における学生の役割や学生に対する社会のまなざしも多様でありうるのだ。しかし、逆説的に、そうした歴史的变化を俯瞰できてはじめて、学生になる、学生である、ということの普遍的な意味や価値も見えてくるのではないだろうか。

設問1 以下の(1)～(5)に答えなさい。

(1) 下線部(1)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- (a) 漢の高祖が導入した郷挙里選では、地方長官の推薦によって官吏が選任された。
- (b) 九品中正制度(九品官人法)の導入により、豪族は上級官職から排除された。
- (c) 隋で始まった官吏登用制度である科挙は、世宗によって朝鮮王朝にも導入された。
- (d) 宋では殿試と呼ばれる科挙の最終試験が導入され、皇帝自らが最終審査を行った。

(2) 下線部(2)に関する次の記述のうち、誤りを含むものを1つ選びなさい。

- (a) ギルドは自由競争を禁じ、市場を独占した。
- (b) 商人ギルドは、ツunftとも呼ばれた。
- (c) 同職ギルドは、商人ギルドに対抗しながら市政参加権を獲得した。
- (d) フランス革命期の国民議会は、ギルドを廃止した。

(3) 下線部(3)に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- (a) ルターはミュンツァーの指揮するドイツ農民戦争を支援し、領主制の廃止要求を支持した。
- (b) フランスでは、カトリック教徒によるサンバルテルミの虐殺をきっかけとしてユグノー戦争が勃発した。
- (c) 神聖ローマ皇帝カール5世の弾圧に抵抗するため、プロテスタントの諸侯と帝国都市はカルマル同盟を結んだ。
- (d) 三十年戦争の講和条約により、神聖ローマ帝国ではルター派のほかにカルヴァン派が公認された。

- (4) 下線部(4)に関する次の記述のうち、誤りを含むものを1つ選びなさい。
- (a) 津田梅子は、岩倉遣欧使節団に随行する留学生としてアメリカ合衆国に滞在し、帰国後は日本の女子教育に力を尽くした。
 - (b) 魯迅は、医学を志して日本に留学したが、文学に転じて『狂人日記』や『阿Q正伝』を発表した。
 - (c) ガンディーは、イギリス留学から帰国して非暴力・不服従の独立運動を展開し、独立後のインド初代首相になった。
 - (d) ファン＝ボイ＝チャウは、ベトナムの青年を日本に留学させるドンズー(東遊)運動を展開した。
- (5) 下線部(5)に関連し、次の年表に示した(a)～(d)の時期のうち、ハンガリーの学生や労働者による反ソ暴動にソ連が軍事介入したハンガリー事件が起きた時期として正しいものを1つ選びなさい。

1949年 経済相互援助会議(COMECON)創設

(a)

1959年 フルシチョフ、ソ連首脳として初訪米

(b)

1969年 戦略兵器制限交渉(SALT-I)開始

(c)

1979年 ソ連、アフガニスタンに侵攻

(d)

設問2 下線部 に関連し、第一次世界大戦が参戦国の政治・社会に与えた影響を、以下の指定用語を全て用いて200字以内で説明しなさい。なお、使った用語には必ず下線を引くこと(同じ用語を複数回使ってよい。下線は初出の1箇所のみで構わない)。

【用語】 植民地，女性参政権，総力戦，民族運動

設問3 波線部  に関連し、問題文の内容を踏まえた上で、学生になる、学生であるということが持ちうる普遍的な意味、もしくは複数の地域や時代に共通する意味を論じなさい。その際、あなたの論の裏付けとなるような歴史的な出来事・具体的な事例(問題文に挙げられているものでなくともよい)を複数挙げて説明を加え、300字以上350字以内でまとめなさい。

